

“いのちのつながり”に貢献する医療、研究のために



# DIVERSITY + INCLUSION

ダイバーシティ&amp;インクルージョン



## キャリアもプライベートも、 留学したからこそ今の自分がある

学校法人日本医科大学しあわせキャリア支援センターを兼務し、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」でグローバル人材の育成や海外での研究支援について取り組んでいる日本医科大学・堀純子教授に、女性リーダー育成を通じたダイバーシティ研究環境づくりの意義を聞きました。

日本医科大学 眼科学教授 しあわせキャリア支援センター委員 **堀 純子**

今、多くの企業や大学で女性の上位職への登用が進められています。組織側が見守りながら、候補者を早めに選んで引き上げる形で役職につけています。

多様性を推進していく方向へ日本の社会構造を変革するためには、国内で要職にある人に引き上げてもらうだけでなく、グローバルな視点から日本はここがおかしい、もっと多様性が必要だと言える女性が30%いないと変革できません。そのようなリーダーを育成するためには、必ずグローバルな場を経験してもらうことが重要だと思います。

私たち医師・研究者が国際的に認められるためには、M.D.とPh.D.という学位とともに、それぞれの研究領域でのグローバルな人的ネットワークが必須です。さまざまな国から優秀な人材が集まって一緒に研究するコミュニティのメンバーになることで、帰国後に自国でリーダーシップを取る上で信用力の基盤になり、研究者としての自信にもつながるからです。

一方で、家庭の事情や経済的に留学するのが難しい人には、国際学会での発表という機会があります。これも非常に大きな刺激を得られる場です。私も学会プログラムを作る側として関わったことがあります。国際学会では登壇者の決定において、女性や人種の多様性を担保するこ

とが義務づけられています。若手がシニアに質問することも普通です。

私自身、キャリアの面でもプライベートの面でも、留学しなければ今の自分はありませんでした。留学先の研究所はラボも素晴らしく、全世界から優秀な人材が集まってきました。約半数が女性で、日本とは大きな環境の変化でした。女性教授も多く、彼女たちはワークライフバランスを重視していて、夕方5時半になると帰るのでびっくりしたものです。出産、育児をしていることによる差別的な扱いもなく、女性医師・研究者の自由な生き方に触れて目から鱗が落ちるような思いでした。

日医大のグローバル人材育成のための支援制度では、応募条件を「本学の常勤の女性研究者(助教以上)」としております。職位や年代は関係ありません。ライフステージもさまざまだと思いますので、若手や助教になりたての方、シニアの方も応募できるように、応募条件に自由度を持たせました。留学期間についても、1カ月以上程度にして応募のハードルを下げました。

海外での研究や研究発表を経験したり、海外の研究者と交流したりできる留学に興味を持ってやってみよう、というやる気のある人でしたら、どなたでも応募いただきたいです。

## グローバル人材育成のための支援制度のご紹介

日医大と日獣大では、グローバルに研究活動を行う先生方を応援するために、さまざまな助成制度や支援制度を用意しています。制度を活用して研究活動を行った先生方の声を交えてご紹介します。

### 女性リーダー 育成型

#### 女性研究者海外研修助成制度(ダイバーシティ支援) 日医大

本邦から目的地まで、および目的地から本邦までの移動に要する交通費と滞在費の一部を助成します。

#### 国際学会発表助成制度 日医大、日獣大共通

女性研究者自らが企画し遂行した研究の成果を世界に発信する国際学会発表のための費用として、旅費(往復交通費、宿泊費)および学会参加費(限度額有)を助成します。

### Voice 救急医療の新しいトピックや手法を学びました

多摩永山病院 救命救急科 病院講師 田中 知恵



私は国際学会発表助成制度を利用して、スペインのバルセロナで開催されたEUSEM2023(ヨーロッパ救急医学会)に参加しました。国際学会は最先端の事象を学ぶ、また世界の中の日本の医療の重要性を再認識できる貴重な機会ですが、国際学会の参加費自体が高額な上、渡航費と宿泊費が高騰しており、滞在費も含めてヨーロッパの国際学会に参加するということは金銭的に大きな負担になります。この制度のおかげで金銭的負担を軽減していただけのため、無事参加することができました。学会とは直接関係ありませんが、バルセロナの街並みを楽しむ余裕もでき、非常に楽しく学ぶことができた滞在になりました。国際学会で発表した内容については、論文投稿を行っています。それ以外にも、今回の国際学会で自分の発表以外でも救急医療の新しいトピックや手法を学ぶことができましたので、実臨床や今後の研究に繋げていきたいと考えています。助成していただき、本当にありがとうございました。

### 牽引型

#### 英語プレゼンテーション講座(個別英語レッスン) 日獣大

ネイティブ講師によるオンラインでの実用的な英語プレゼンテーション表現や質疑応答における会話の指導、海外学会報告原稿・発表用スライド・教材の英語チェック、学会口頭発表・フリートークの個別レッスンです。

#### 英文校閲費用助成制度 日医大、日獣大共通

学術雑誌への投稿論文の英文校閲費用の一部を助成する制度です(上限10万円・税込み)。日本医科大学は一人あたり2論文までについて合計10万円を上限に助成します。

#### 留学アドバイザー 制度 日医大、 日獣大共通

留学に関わる疑問や悩みに、留学を経験した研究者が「留学アドバイザー」としてアドバイスをするものです。留学に向けた情報収集の機会として活用ください。アドバイザーの記事や留学経験者のインタビュー集はこちらからご覧いただけます。



詳しくはこちら

### Voice 留学経験のある先生方のアドバイスでチャンスを掴めました

武蔵小杉病院 皮膚科 助教・医員 石原 優里



海外留学を考えたことがなかった私ですが、夫の海外転勤を契機に、自分も留学することを考え始めました。留学先への応募の仕方も分からず、相談できる留学経験者が周囲にいなかったこともあり、インターネットの情報のみを頼りで一人で悩んでいた中で、この留学アドバイザー制度の存在を知りました。留学経験のある先生方と面談する機会を設けていただき、主に留学先へのアプローチの仕方、奨学金の応募方法を教えていただきました。留学中の実際の苦労話など、貴重なお話も伺うことができました。面談を通して、留学応募への後押しをしていただいた私は、すぐに留学希望先へメールを送りました。幸運にも、数日後には留学受け入れの前向きなお返事をいただくことができ、2024年春からドイツ・ハイデルベルク大学マンハイム医療センター皮膚科・皮膚病理分野での留学が決まりました。留学先にも訪問し、教授にお会いすることができました。今回、留学経験のある先生方にアドバイスを頂けたからこそ掴むことができたチャンスだと思えます。この貴重な機会を無駄にしないように、準備を進めて参りたいと思います。

### 留学支援 について

One Healthのウェブサイトでは、上記支援制度の他にも、助成金や海外生活についてなど留学に役立つ情報を多数掲載しています。

詳しくはこちら



# 活動報告

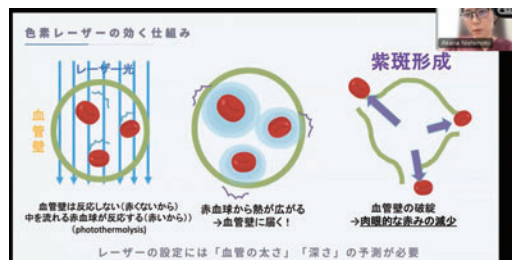
## 牽引型

### 研究成果発表会を開催しました

日医大

2023年9月21日、2021年度と2022年度に共同研究※1および研究支援員配置制度※2を利用した日医大の女性研究者の研究成果発表会をオンラインで開催し、発表者8名を含む30名が参加しました。それぞれの発表者は、1年間の研究成果を存分に表現し、その後は活発な質疑応答が繰り返されました。さまざまな研究分野の研究者が集まるこの発表会は、発表者にとっては自身の研究をアピールし、互いに刺激を受ける貴重な良い機会となり、あっという間の2時間となりました。

- ※1 連携機関(日医大・日獣大・アンファー(株))における共同研究で、特に有用と認めた、女性が研究代表者となるプロジェクトに対し、共同研究費として年間100万円を補助する制度
- ※2 育児や介護などライフイベントにある研究者に週20時間までの研究支援員を配置する制度



武蔵小杉病院 形成外科  
病院講師 西本 あか奈

## 牽引型 | 女性リーダー育成型

### ダイバーシティ研究助成 研究発表会を開催しました

日獣大

日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科食品工学 教授  
しあわせキャリア支援センター委員 小竹 佐知子

「2022年度ダイバーシティ研究助成 研究発表会」を2023年10月4日、日本獣医生命科学大学で開催しました。2022年度の研究助成は、①共同研究(日本医科大学との共同研究を含む)②研究員支援制度③研究費支援の3種類があり、①および②はそれぞれの中で牽引型と女性リーダー育成型の2つのタイプがありました。また、②および③は2022年度より新しく導入された支援でした。

この日は、獣医学科教員5名、動物科学科教員1名、食品科学科教員4名の計10名(男性教員1名を含む)による、全13演題の発表が行われました。内容は、動物実験により検討されたアトピー性皮膚炎、腸管粘膜炎症、鼻腔疾患、呼吸器疾患、肝細胞癌、ホルモン分泌、消化管病態および、食品の抗酸化性、機能性、澱粉特性、におい特性に関する研究など多岐にわたるものでした。日本医科大学との共同研究では、医学領域の知見・技術が導入された効果が示されました。また、各発表テーマともに実験計画の進捗が順当であったことが報告され、質疑応答が活発に行われました。



獣医学部 獣医学科 獣医微生物学  
准教授 木邊 量子



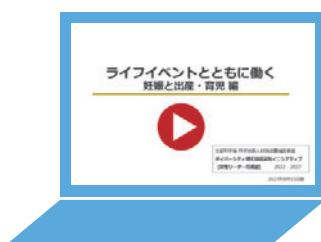
応用生命科学部 食品科学科 食品機能化学  
准教授 江草 愛

## 女性リーダー育成型

### 妊娠・出産、育児とともに働くための支援制度をご案内しています

本事業では動画「ライフイベントとともに働く～妊娠と出産、育児編～」を作成しました。学校法人日本医科大学に勤務する教職員が、妊娠・出産や育児とともに働くために活用できる制度を30分ほどでわかりやすくご紹介しています。これから妊娠・出産を迎える方、育児中の方はもちろん、その上司や同僚の方々に、知っておいていただきたい内容です。働くすべての人が理解することで、制度の整備と活用を推進し、妊娠・出産、育児とともに働ける職場環境の実現を目指します。ぜひご活用ください。

#### 視聴の感想、ご意見



組織にとって大事な人材なので、やりがいを持ち働き続けられるような支援は重要だと思います。

女性・看護・管理職

理解がない方もいるので各職員に理解と協力を推進していく必要があると思います。

男性・事務

男性対象の休暇はよく知らなかったので勉強になりました。

女性・技術・管理職

動画の視聴はこちら





## 猫との暮らし ～ペットがいるワークライフバランス～

日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護学科  
獣医保健看護学応用部門  
講師 生野 佐織

2014年に動物病院から茶白のトラ柄の雄猫を引き取りました。名前は空(そら)、当時9歳で、2023年12月で19歳になります。とても甘えん坊で、引き取った初日から一緒に寝るためにベッドに潜り込んできた空にびっくりしたと同時に、とても嬉しくなったことを覚えています。それからは10年間ずっと一緒に寝ています。今は、甲状腺機能亢進症の治療をしながら元気に過ごしています。仕事から疲れて帰宅すると空がドアの前で出迎えてくれるので、それが日々私の癒しになっています。

しかし、空との暮らしにも課題があります。一番の課題は、出張など家を離れる時は預かり先を探さなければならぬことです。空の場合、疾患があるためペットホテルは受け入れてもらえず、ホテルより高額な動物病院に預けるしかありません。そういった場合に、付属動物医療センターで預かってもらえる、費用を負担してくれるなど、この大学ならではのサポートがあれば、動物を飼育している教職員にとっては、動物の安全面や飼い主の不安の軽減などさまざまな面で非常に助かると思います。私たちが動物から受ける恩恵は計り知れません。人と動物がより暮らしやすい環境が、当たり前になれば良いと思います。



空の18歳の誕生日と一緒に記念撮影



自分の足を抱えて爆睡中



動画配信はこちら

### 活動報告



…動画配信あり



#### 女性リーダー育成型

2023年

- 7月6日 付属病院イクボス推進 若手ヒアリング開催
- 7月26日 リサーチカフェ 第1回科研費開催
- 8月22日 第2回URA研究戦略マネジメント勉強会 (研究推進課、研究統括センターと共催)
- 10月4日 2022年度ダイバーシティ研究助成 研究発表会(日獣大)

2024年 活動予定

- 2月8日 セミナー「サイエンスイラストレーションのすすめ」
- 3月18日 セミナー「キャリアと妊活について考えよう(仮)」

#### 牽引型

2023年

- 9月21日 2022年度共同研究・研究支援員配置採択者による研究成果発表会(日医大)
- 10月4日 2022年度ダイバーシティ研究助成 研究発表会(日獣大)
- 11月16日 研究費獲得セミナー「科研費獲得を目指した申請書の書き方ポイント 初めて応募する研究者のために」
- 11月29日 第4回女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト
- 12月5、12、19日 英語論文の書き方講座 実践編

### 支援制度のご案内



本事業では皆様の研究活動を支えるさまざまな制度をご用意しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。ご利用をお待ちしています。

#### 女性リーダー育成型

- 2023年度 国際学会発表助成制度
- 2023年度 論文投稿費用助成制度(日獣大)
- 女性を対象とした研究助成金・賞等の情報提供

#### 牽引型

- 2023年度 病児・病後児等保育支援制度
- 2023年度 英文校閲費用助成制度
- 2023年度 英語プレゼンテーション講座(日獣大)
- 産学横断型キャリア相談窓口/One Healthメンター制度
- 留学アドバイザー制度

詳細、お申し込みなどは  
One Healthのウェブサイトをご覧ください

#### 文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(女性リーダー育成型)

【代表機関】日本医科大学 【共同実施機関】日本獣医生命科学大学 アンファー株式会社

【編集・発行】学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 TEL 03-3822-2131

one-health.jp

